平成 19(2007)年 2 月 8 日発行　第８号

第六中学校・第十一中学校 統合委員会ニュース 第8号

発行：第六中学校・第十一中学校統合委員会

統合新校の校名候補として「緑（みどり）の野中学校」を選定しました

今号では、１月１７日に開催された第８回統合委員会での協議内容を中心にお知らせします。

校名についての協議内容

第７回統合委員会で、校名については「桜」「中野桜」「桜野」「緑」「中野緑」「緑野」を候補とすることを基本とし、第８回統合委員会で校名候補として１つに取りまとめることとしていました。

第８回統合委員会では、以下のように様々な意見が出されましたが、議論の結果、全委員一致して統合新校の校名を「中野区立緑野中学校」と取りまとめ、教育委員会に報告することが、拍手をもって承認されました。

「緑野中学校」を校名候補として選定した主な理由

- 統合新校が設置される第十一中学校は、校内に緑が多く、周辺も緑の多い環境である。
- 「緑」には、四季折々の変化があり、個性や可能性が感じられる。
- 「緑」には、すがすがしさや新緑からの成長のイメージがあり、統合新校のスタートにふさわしい。
- 中野区の学校であることから、「緑」に「中野」の「野」を組み合わせ、「緑野」とした。

〈主な意見〉

［「桜」か「緑」かについて］

- 十一中に桜を植えた代の卒業生であり、桜には愛着がある。
- 新校のイメージからは、「桜」が良いと思う。
- 濁音があると応援するときなどには言いにくい。そういう意味では「緑」より「桜」が良いのではないか。
- 十一中の校歌は「みどりの台地」で始まる。統合新校の場所は、元々緑のイメージがあったのではないかと思われる。

拍手をもって承認されました

- 「桜」には会議のサクラといった、あまり良くないイメージが含まれる場合がある。「緑」にはそういうものはない。

・　「桜」は地名に桜がついている地域で校名としていることが多い。中野には「桜」の付いた地名がないことから「緑」としたらどうか。
・　「桜」は十一中のイメージが強いが、「緑」なら六中・十一中が対等である。
・　「緑」は若い、すがすがしい、これから育っていくイメージにつながる。
・　種をまいたところからスタートするというイメージや、校歌の歌詞のことも考えると「緑」のほうが色々な意味で広がりがあり良いと思っている。
・　「緑」は、新校の学校像からも意義付けしやすく、こういう精神で学校運営を行っていくと子どもに訴えかけやすい。シンボルカラーにもなる。

[「中野」か「野」をつけることについて]

・　中野の学校ということで「中野」がついたほうが良いのではないか。
・　「中野区立中野〇〇中学校」となると、「中野」が重なり長い印象がある。
・　「中野緑」「中野桜」や「緑」「桜」では人の名前になってしまう。「野」をつけるとそういうことはなくなる。
・　中野の「野」をとって「野」をつけるのが良い。

教育委員会に校名候補を報告しました

統合委員会で取りまとめた校名候補「緑野中学校」を教育委員会に報告するため、１月 24 日、統合委員会の笹川委員長が教育委員会に菅野教育長を訪ねました。

校名候補を報告する笹川委員長(左)

笹川委員長は、統合委員会の全委員が一致して校名候補を「緑野中学校」と取りまとめたことと、「緑野中学校」を選定した主な理由、それに至る経緯などを報告し、あわせて、これから標準服や校章、校歌などの検討を進めていくことを報告しました。

菅野教育長からは、統合委員会での熱心な議論に敬意が表されるとともに、今後とも統合が円滑に進むよう支援していくこと、また区立学校の活性化に向けてさらに努力をしていく旨の発言がありました。

今後の予定

校名については、今後、教育委員会で協議、議決の後に「中野区立学校設置条例」の一部改正案の形で区議会に提出され、区議会の議決を得て決定することとなります。

統合委員会では、今後、引き続き標準服の検討を進めるとともに、校章、校歌等の検討を開始する予定です。

第六中学校・第十一中学校統合委員会ニュース　第８号
編集･発行：第六中学校・第十一中学校統合委員会
事務局：中野区教育委員会事務局教育改革担当
TEL:03-3228-5548 FAX:03-3228-5679

次回の統合委員会は、
・２月２１日(水)
に開催する予定です。

※　統合委員会の会議要録は、区役所１階区政資料センターもしくは教育委員会ホームページでご覧になれます。